

デジタル木工機器の利用案内、及び注意事項

利用案内

デジタル木工機器の利用には、清和公民館の工芸室の予約が必要です。団体の場合は、利用日の6か月前から1週間前までに予約および申請をお願いします。個人の場合は、利用日の6日前から予約が可能です。

デジタル木工機器の利用自体は無料となりますが、市外の方のみの利用の場合や、利用目的によっては工芸室の利用が有料となる場合があります。

利用の可否は君津市公民館貸出判断方針により判断されます。利用目的が専ら営利目的であると判断した場合は、利用をお断りする場合があります。

利用者が準備するもの

- ・制作物のデータ（著作権を侵害しないものであること）
- ・エンドミル（利用者が作成したいものに合わせたものをご準備ください）
- ・掘削対象物（木片や木板など）
- ・掘削対象物固定用の釘やネジ
- ・データ修正用 PC（必要に応じて）

工芸室の設置物

- ・デジタル木工機器本体
- ・インパクトドライバー（掘削物固定用）
- ・木工機器本体の操作用 PC（データの修正はできません。現在準備中）
- ・掃除用品

注意事項

1. 使用にあたって

制作物のデータ（以下データ）の作成、加工材料の配置、加工に至るまでのすべての工程を利用者が行います。

データの持ち込みは物理媒体（USB や SD カードなど）のみとなります。インターネットを使用したデータの持ち込みはできません。

工芸室に設置している PC では、データの修正は行えません。データ修正が必要な場合は、ご自身の PC をご準備ください。

木粉などの可燃性粉塵が発生することがあることがあるため、火器の扱いは厳禁とします。最悪の場合、火災、爆発に至る可能性があります。

2. 使用前

利用の際は、必ず機器の操作に慣れた人が1人は付き添うこと、また、可能な限り2人以上での利用をお願いします。1人でも利用はできますが、十分に気を付けてご利用ください。

3. 実際の使用時

利用者の操作ミスによって機器の破損、故障が発生した場合は、賠償を求めることがあります。

掘削物は必ず、ネジや釘などで掘削台の上に固定し、掘削物が飛ばないように対策をしてください。また、エンドミル（掘削用ドリル）付近を触る場合は、手袋など、機械に巻き込まれる可能性のあるものは取り外して作業してください。

加工中は必ず機器の動作を確認できる場所にいるようにお願いします。ただし、作動中の機器に極端に近づくことや、掘削中に掘削物や可動部に触れないようにしてください。

掘削物やエンドミル付近を触る場合には、必ず機器が停止していることを確認し、電源をオフにしてから作業してください。

上記をお守りいただけない場合、重大な事故につながる可能性があるため、注意事項をよくお読みいただき十分に気を付けてご利用ください。

（例：完全に刃が止まっていな状態で接触し、指を負傷する。

：固定した掘削物を手で動かそうとして、掘削物ごと刃物に引っ張られ指を負傷する。）

